

令和3年6月30日
住宅局住宅生産課

住宅性能評価書（設計）を交付した住宅の割合は増加 ～令和2年度の住宅性能表示制度の実施状況について～

令和2年度における住宅性能表示制度の実績をとりまとめましたので、お知らせいたします。

【ポイント】

- ・新設住宅着工戸数に対する設計住宅性能評価書の交付割合は、27.8%となり、5年連続の増加。

1. 住宅性能表示制度の概要

住宅の性能について、国が定める共通のルールに基づき、登録住宅性能評価機関が評価し、その性能を表示する制度です。

住宅性能評価書には、①設計図書の段階の評価結果をまとめた「設計住宅性能評価書」と②施工段階と完成段階の検査を経た評価結果をまとめた「建設住宅性能評価書」があります。

※②の建設住宅性能評価書には、既存住宅を対象とするものもあります。

2. 令和2年度実績

<評価書交付割合>

【設計】：27.8%

（新設住宅着工戸数：812,164戸）

<評価書交付実績>

【設計】：225,609戸

（対前年比：8.0%減）

【建設（新築）】：191,742戸

（対前年比：3.8%減）

【建設（既存）】：455戸

（対前年比：13.8%増）



（参考）制度実施以降の実施状況については、以下URLよりご参照ください。

一般社団法人 住宅性能評価・表示協会ホームページ

<https://www.hyoukakyukai.or.jp/>

<問い合わせ先>

国土交通省住宅局住宅生産課 川崎、宇佐野

電話（代表）03-5253-8111（内線39-456, 39-433）

（FAX）03-5253-1629